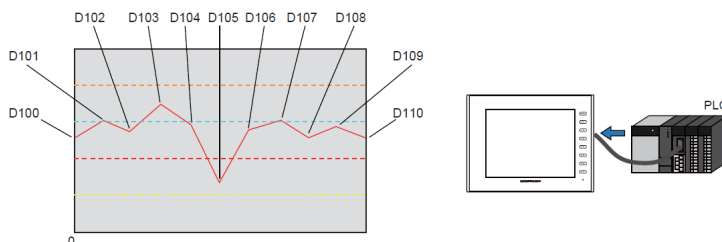


トレンドグラフ (リアルタイム) の動作まとめ

トレンドグラフ (リアルタイム) とは

連続したデバイスの値を折れ線グラフで表示する機能です



ビット制御

制御用ビットのOFF→ONのタイミングでグラフを表示/更新



マクロで
ビットON/OFF

ラダーで
ビットON/OFF

グラフの更新回数を
管理したり、更新タイミングを
制御したりできる！



OR

常時更新

グラフの更新はモニタッチにお任せ。マクロやラダーは不要です！

デバイス制御なしで、モニタッチが**自動でグラフを更新**！（常時表示）




モニタッチの処理
サイクルに合わせて更新

表示したいポイント数だけ
指定すれば、いつでも
最新の値でグラフが描かれる！

ビット操作は
必要なし！

連続するデバイスの値を
シンプルにグラフ表示したい時、
より簡単に実現できるようになったね！




表示方法による動作の違い 

常時表示



グラフ設定


表示ポイント数 20 / 1920 常時表示

制御デバイス 

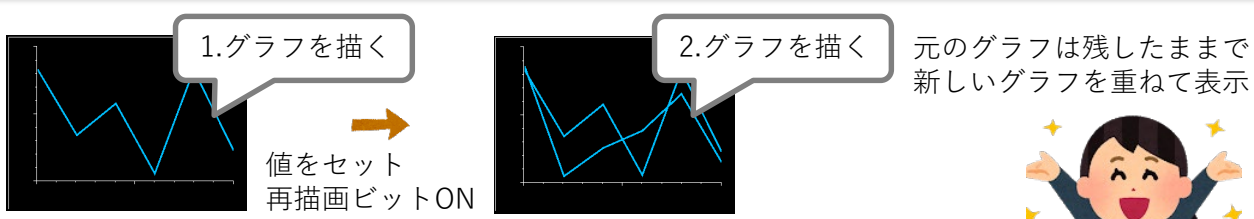
「常時表示」にチェックを入れておく！

こんな時にピッタリ！

- 設定デバイスの値が常に変わる
- いつも最新のデータだけ表示



制御デバイス 再描画ビット



制御デバイス： [デバイスマップ](#)

15	14	13	12	11	10	09	08	07	06	05	04	03	02	01	00
		0	0	0											

1. 横軸ポイント数

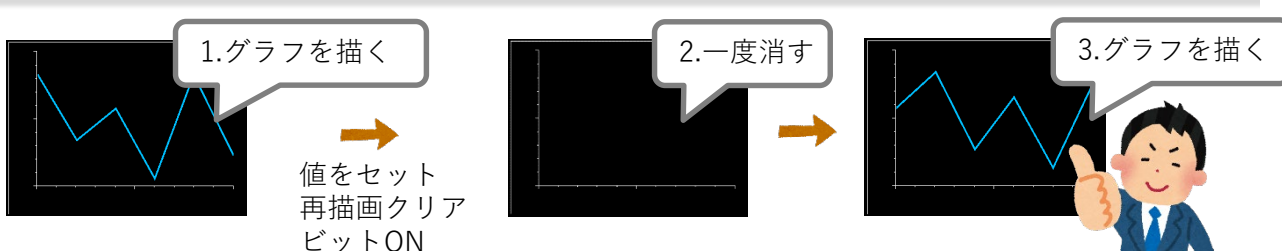
2. 再描画 (0→1)

3. 再描画クリア (0→1)

こんな時にピッタリ！

- 任意のタイミングでグラフを更新したい
- 前回のグラフを残して差を確認したい
- 目安値と実測値を確認したい

制御デバイス 再描画クリアビット



制御デバイス： [デバイスマップ](#)

15	14	13	12	11	10	09	08	07	06	05	04	03	02	01	00
		0	0	0											

1. 横軸ポイント数

2. 再描画 (0→1)

3. 再描画クリア (0→1)

こんな時にピッタリ！

- 任意のタイミングでグラフを更新したい
- データ更新回数など、全て管理したい
- 最新のデータだけ表示したい

